

vol 12

令和6/冬



# 立雲寺 だより

血風堂



立正安国・お題目結縁運動  
いのちに合掌

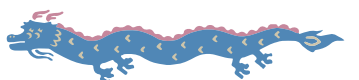
〒050-0086  
北海道室蘭市大沢町 2-4-1

TEL (0143)44-4306  
MAIL ritsuunji@gmail.com

立雲寺公式サイト



13:00 水行  
水行後～節分析禱会  
法要後～豆まき



## 旧

年中はお世話になりました。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

昨年は檀信徒の皆様にご寄付を募り、本堂床の修繕、永代供養墓・ペット合同墓新設、各墓碑移設、全て滞りなく無事円成致しました。改めて御礼を申し上げます。引き続き檀信徒会館の建設を予定しております。

檀信徒の皆様におかれましては、引き続きご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。

## これからのお寺に必要なこと

### 昨

年からお寺の行事も通常通り行うようになり、皆様とお会いできる日が増え、嬉しく思っております。コロナ禍による自粛で今までなんとなく続けてきた事を見直したり、新しく物事を始めてみたりする方もいたと思います。お寺も行事やお参りのやり方を見直したり、供養や祈り、そして仏教の教えをどう伝えていくかを試行錯誤した数年でした。様々な取り組みをやる中で改めて気付かされたのは、「対面に勝るものはない」ということです。



今の時代、ネットの普及であらゆることが効率的にオンラインで出来るようになりましたが、供養や祈り、自分の心を育てることは、やはり効率的にはできない。時間をかけて自分の足で、体で行うことには人の温度、生の声や表情、心、

「対面」が必要であると。当たり前のことですが、改めて日々感じていきます。

この時代、ネットで調べれば大体のことはわかりますし、世界中どこにいても様々な人と繋がれます。しかし実際に自分がどう考えてどう行動するかは、ネットには書いていません。そこにはやはり生身の人と人、心と心の関係があります。

大変な時や何かに迷った時「お寺があるから、坊さんがいるからちょっと話してみよう」という存在。お寺は心の防波堤のようなものでありたいと思います。

とはいえこれからの時代お寺もネットは必須ですし、お寺のホームページ等を見てお寺と縁を結んだ方も沢山いらっしゃると思います。便利なものはどんどん取り入れていこうと思います。

文明の利器に頼りつつ、必要な時にはいつも寄り添えるお寺でいれるよう、本年も精進してお参ります。いつでもお寺にお茶を飲みに行きたいです。

## 冬号もくじ

- 1 ご挨拶  
これからのお寺に必要なこと
- 2 節分析禱会
- 3 御守り作り体験  
お寺で修行体験

- 4 お供物をお届け  
お寺の図書館  
期間限定御首題  
教室案内  
学びの時間  
春夏秋冬

令和6年  
2.10 (土)

場所  
立雲寺本堂



今年より

水行・祈祷会・豆まき

すべて通常通り行います

ぜひ皆さままでご参拝ください



# 節分祈祷会

二月十日 (土)

十三時  
水行後  
法要後  
水行  
祈祷会  
豆まき

お

寺の年中行事の中でも一番参拝される方の多い節分祈祷会。

ここ数年、参拝を制限しておりましたが、今年よりすべての皆さまにご参拝・ご祈祷を受けていただけることとなりました。

前回皆さまにご参拝いただいたのは令和二年、林光汰の荒行堂の帰山式と併せて行った時以来です。いつも来ていただいていた周辺のお寺の方々も今年からお呼びし、多数の僧侶で水行・ご祈祷をさせていただきます。

厄年・家内安全・身体健全・当病平癒・交通安全・商売繁盛・社運隆昌・合格祈願・家相方除・星まつり：等各ご祈願を受け付けております。

まだ参拝したことのない方も、難しいことは何もありませんので、ぜひご家族やご友人と共にご祈祷を受けに来てもらいたいと思います。

日蓮宗のご祈祷は、大荒行堂で修行を積んだ者だけが相伝される木剣修法により人々の罪障を払い、祈願の成就を祈ります。我々祈祷する者の祈り、祈祷を受ける皆さまの信心・祈る力、そして本仏の慈悲をいただき、それが一致した時に祈願が成就していきま

す。皆さまの祈願が無事成就することを祈念し、僧侶一同水行、ご祈祷させていただきます。

## 令和6年厄年早見表

女性 (数え年)		
前厄	本厄	後厄
平成19年生 18歳 いのしし	平成18年生 19歳 いぬ	平成17年生 20歳 とり
平成5年生 32歳 とり	平成4年生 33歳 さる	平成3年生 34歳 ひつじ
昭和40年生 60歳 へび	昭和39年生 61歳 たつ	昭和38年生 62歳 うさぎ

男性 (数え年)		
前厄	本厄	後厄
平成13年生 24歳 へび	平成12年生 25歳 たつ	平成11年生 26歳 うさぎ
昭和59年生 41歳 ねずみ	昭和58年生 42歳 いのしし	昭和57年生 43歳 いぬ
昭和40年生 60歳 へび	昭和39年生 61歳 たつ	昭和38年生 62歳 うさぎ

女性本厄のみ	男性本厄のみ
平成24年生 13歳 たつ	平成24年生 13歳 たつ
昭和63年生 37歳 たつ	

## 厄年とは？厄年の過ごし方

厄年とは、一生涯に対する人の運気の流れが悪くなり、様々な厄災に見舞われやすい年です。年齢的に成長が落ち着く、仕事や家庭でも責任ある地位が与えられる、定年により緊張感から開放される等、心身ともに環境の変化が起こりやすく不安定な時期に重なることが厄災に繋がります。一因ともいえます。

では厄年には具体的に何をしたら良いのでしょうか。

まずは厄除け・厄払いのご祈祷を受けて神仏のご加護により災いから身を守り厄を除ける事、厄災を最小限にする事です。

その上で日常生活ではより慎重に、環境を変えることは極力避けるようにする事です。例えば、引っ越し・新築・結婚・転職・新しいことのスタート等

は避けるべきとされています。これらは心身ともに大きなストレスが掛かりやすく負担を与えやすい事です。自ら積極的に動くのではなく、今までやってきた事を大切に、自分のスキルや知識を磨いたり、自分を見つめて感謝と充電をする期間として過ごすのが良いでしょう。

また厄年を「役年」として、自分のお金や労力、時間等を他の人に分け与えることも意識してみましよう。人の為に動くという事です。

右の表は、立雲寺で特に大事としている厄年の表です。本来女性の三十七歳の厄年にも前・後厄はありますが、本厄のみとさせていただきます。気になる方はご相談ください。男女共通の十三歳の厄年は干支が一回りし、元の干支に戻る年で最初の厄年に当たります。不明な点は、お気軽にご相談ください。



今年からお守り袋が干支カラーになりました。(1種類のみ) 今年は辰年をイメージしたデザイン。毎年変わります。

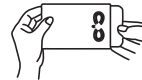
# 御守り作り体験

全5回  
13:00-14:30  
1/2 火  
1/8 月  
1/14 日  
1/22 月  
1/27 土



一月〜四月  
**予行  
定事**

- 1月 1日 新年祈祷会
- 13日 13日講
- 2日 } お守り作り
- 8日 } 体験
- 14日 } (13:00-14:30)
- 22日 }
- 27日 }
- 2月 10日 節分祈祷会
- 3月 20日 春季彼岸会
- 4月 13日 水神祭



### 3 封じる

木札に名前を書き、願いや目標を記した紙と共にお守り袋に封じます。



### 1 記す

お経文をなぞり(写経)、願いや目標、または送る方へメッセージを記します。



### 4 完成

いつも身に付けましょう。終了後記念品と「限定御朱印(辰年)」を授与します。



### 2 祈る

読経と日蓮宗独自の木剣修法によるご祈祷を行い、心願満足を祈ります。



## お寺で修行体験

「お寺で修行体験がしてみたい」とのご要望があり、ご縁ある方々に修行体験をしてもらいました。

内容は「写経」「唱題行(瞑想)」、終了後に参加された皆さまとお寺や仏教、ご祈祷のこと、お坊さんのことなどをお話しさせていただきました。時間は約2時間程。有意義な修行体験となりました。

今後もこのような体験を定期的 to 開催したいと考えております。何かご要望がありましたら、お気軽にお申し付けください。

## お供物をお届けしました

数年前より、主にお盆やお彼岸であがったお供物を「フードバンクゆめみ〜る」さんに寄付させていただいております。お届けしたお供物は、定期的に行われる子ども食堂に提供していただいております。

皆さまのおあげしたお供物は、ひとり親世帯の方や地域の子供たちに届けられております。

ゆめみ〜るさんは普段は安くて美味しい食堂屋さんです。中でも手打ちそばはおすすりめです!



「お  
淹れとあげれば」と妻が  
言った。忘れていた、今  
日十三日は父と母の命日だ。お  
もむろに腰をあげ、冷凍庫から  
豆を取り出し、ガリガリと豆を  
挽く。父と母は珈琲好きだった。  
特に父は、行きつけの喫茶店が  
何軒もあった。その中に大川原  
病院近くの「コルツ」という店  
があった。店の看板は漢字だっ  
たが覚えていない。コの字型の  
カウンターの他のお客さんと上  
品なママさんが父とにこやかに  
談笑していた。十代半ばの私も  
その中に混じり、緊張しながら  
飲んだ珈琲：大人の仲間入り



## 学びの時間

第12回

### 「心を込めて」

文・林永清

林永清（はやし・えいしん）／立雲寺副住職。  
令和3年5月より「立雲寺だより」にて一口  
法話「学びの時間」を連載開始。

した気がした。三年程前から珈  
琲を入れるのが趣味となってい  
る。挽きたての豆をフィルター  
に入れ、ゆっくりと落としてい  
く。あの時のコーヒの味はど  
んなだったか思い出してみよう。  
多分、酸味がほのかに香る、と  
びきり美味しい珈琲だった。父  
と母が生きている時に淹れてあ  
げたかった。日蓮聖人の「亡き  
父母への供養が一番の親孝行」  
という言葉を慰めに、仏壇へと  
供えた。生きている人、亡き人  
にかかわらず、心を込めて何か  
をする事はこんなにも心が洗わ  
れると最近わかってきた気がす  
る。改めて周りの人にも心を配  
れる人でありたいと思った。拜

春夏秋冬  
この間、お寺の奥様の葬  
儀がありました。その時  
いただいた会葬礼状を開いた瞬  
間、感動してしまいました。そ  
こには筆字で「南無妙法蓮華經」  
から始まり自分の死への思いが  
綴られています。自分の病と  
は闘わず、友として共に生きる  
こと、死は終わりではなくあの  
世に里還りすることなど、それ  
はきつと静寂の中、精神統一し  
て書いたものだと思えます。  
最後は「人格を備え大きな喜び  
を持って里還りできることを念  
じて現世を生きています。」と締  
められていました。悟りの境地  
です。憧れ、見習いたいと強く  
思いました。  
(恵)



### 今季の一冊



『なぜ今、仏教なのか』

ロバート・ライト 著  
／早川書房

アメリカの進化心理学者がマインドフルネスの体験と脳科学、進化論の知識からなぜ現代人に仏教が重要であるかを述べた本。まず日本と西洋の仏教の捉え方の違いを感じ面白かったです。2500年前に説かれた仏教の緻密さに改めて驚き、ますます仏教を学びたいと思いました。(光汰)

### 限定朱印

#### 「龍神」

1月・2月限定

頒布期間 1月～2月 志納金 1,000円

今年の干支の辰年、龍神様の御首題です。書き置きはすぐにお渡しできます。直書きを希望の方はお預かり致します。



### 教室案内

#### 公文書写教室 書



〈学べる教科〉

- ペン習字
- かきかた
- 筆ペン
- 毛筆

1・2月【1日無料体験学習実施】

3月 4日 / 11日 / 25日(月) 17:00～20:00  
5日 / 12日 / 26日(火) 14:00～19:00  
(最大3回まで体験可)

※体験希望の方は事前にお問い合わせ下さい。

講師 林香織

TEL 090-5079-0747

立雲寺  
Instagram



RITSUUNJI

立雲寺LINE  
公式アカウント



@183iejsa

様々なご相談を  
随時受け付けて  
おります。  
お気軽にメッ  
セージください。